

全校朝会（こいのぼり）

2019. 5. 1

6年生に「運動会でがんばりたいこと」を聞きました。

今週は、学校に来るのは、今日と明日の2日間だけです。水曜日は憲法記念日、木曜日はみどりの日、金曜日はこどもの日と、祝日が続きます。

こどもの日といえば、こいのぼり・・・、戸三小にも飾られていますね。私は、去年も高田馬場公園にこいのぼりを見に行ったので、今年も行ってきました。やはり、たくさんのこいのぼりが泳いでいてその先にビルが見えて、高田馬場らしくていいなと思いました。土曜日は用事があって、港区の御成門小学校というところに行きました。東京タワーのすぐそばの学校です。東京タワーにもたくさんのこいのぼりが飾られていました。「333匹いるのですよ。」と教えていただきました。東京タワーの高さが333mだからだそうです。「この中に1匹だけ、こいではない魚がいるのですがわかりますか？」と言われました。少し細長くてスマートな魚でした。「さんまです。」と言われました。どうして、さんまなのかというと、港区は、岩手県の大船渡というところと仲良くしていて、そこでさんまがたくさん獲れるからだそうです。「群馬県の館林というところは、ここよりももっと多い5000匹のこいのぼりが泳いでいて、ギネスにも認定されているのですよ。」ということも教えていただきました。一度見てみたいものです。

ところで、なぜ、こいのぼりを飾るのでしょう。それは、中国のお話に関係があります。中国には、黄河という大きな河があります。この河の急な流れにある「竜門」と呼ばれる滝を上ると「竜」になることができると言われ、多くの魚が泳いで登ろうとしたのですが、なかなかうまくいかず、鯉だけが滝を登り、竜になることができたそうです。そこで、鯉は強くて立派なので、子供の成長を願ったり祝ったりする時に飾られるようになりました。江戸時代のことだそうです。でも、その頃は、黒い真鯉だけだったそうです。赤い緋鯉も飾られるようになったのは、明治時代になってからで、その後、青い子供の鯉も入れて家族を表すようになったり、オレンジや緑などのカラフルな鯉を飾って女の子の健康も願ったりするようになりました。

そうそう、一番上についている吹き流しの布には、赤、青、黄、白、黒の五色が使われていて、それぞれ火と木と土と金と水という5つの大切なものを表しています。そして、この5つが繋がっていることで、未来の幸せを表しているものだそうです。

こどもの日には、柏餅や粽がよく食べられます。柏餅は日本で考えられたもの、粽は中国から伝わってきたものなのですが、どちらも植物の葉でおもちやもち米をくるんで作られます。急に暑くなるこの時期は、昔から病気にかかりやすかったことから、病気やそのほかの悪いことを寄せ付けないという意味で葉っぱにくるみます。柏の葉にも笹の葉にも、悪い菌を寄せ付けず食べ物が腐るのを防ぐはたらきがあります。葉っぱでくるむとおもちなどの食べ物がかちかちになってしまうことや乾いてぱりぱりになってしまうことを防ぐこともできます。みなさんも、体に良いものをたっぷり食べて、たくさん体を動かし、ゆっくりと休み、楽しい連休を過ごしたり運動会の練習を頑張ったりしましょう。

最後にお知らせです。先週、兵庫県の小学校3年生の平和のルールの話をしました。「あ・い・う・え・お・わ」の6つがありました。同じ新聞に土曜日、「平和の俳句を募集します」という記事がありました。俳句と言うのは「五・七・五」と、ことばをつなげてつくりまします。「おはようは、元気と笑顔を、つれてくる」とかです。俳句ですが季節の言葉は入ってなくていいそうです。思いついたら、校長室の前に紙を置いておくので、書いてください。